

# 一羊会だより

発行  
 社会福祉法人一羊会  
 事務局 〒663-8241  
 西宮市津門大塚町1-47  
 電話 (0798) 31-1760  
 FAX (0798) 31-1763



今号の表紙を飾って頂いたのは、  
 すずかけ労働センターの職員・増田貴文さん、  
 利用者の浦山剛さんと北原洋さんのお三方。  
 リサイクル棟で自転車リサイクルの作業をしている様子です。  
 今号の地域共生ページ・Bolehのページでは、  
 その自転車リサイクル作業について特集しています。

## 特集

- 法人内研修のご報告 ..... 3
- 事業所紹介 武庫川すずかけ作業所 ..... 4
- あとりえすずかけ新聞 ..... 6
- 地域共生ページ・Boleh ..... 12



一羊会ホームページ  
 へはこちらから

# コロナ禍でもよいお年を!!

理事長 三浦 昇

いつも一羊会の取り組みにご支援いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス禍、お元気で過ごしてはいかがでしょうか、私事ながら、これまで体験したことのない事態で、「どこで罹患するかわからん」といった感染不安、半面、感染経路の不明なケースも多々あり今一つ感染の全体イメージがわきにくく、開き直りたい気持ちもあり複雑な状況です。

コロナ関連のニュースが日々報告される中、一羊会においても自粛ムードを継続しつつ感染予防に努め、日々の取り組みを継続し自粛ムードも少し落ち着いてきたかなと感じていたところ、全国的なGoToキャンペーン以降11月に入り急速に感染者数が増加してきています。

この状態がいつまで続くのか、寒くなるこれからの時期の感染拡大が大変気になるところですが、緊急事態宣言に至らぬよう各自が自己管理に努めることの大切さを感じます。

皆様には改めてこの間も一羊会事業を始め一羊会後援会活動にも変わらぬご支援ご協力いただき深く感謝いたします。

こういった状況下でも多くの皆様の支えを感じながら取り組んでいることのありがたみをひしひしと感じます。

長引くコロナ感染状況では、予防薬、治療薬の登場を待つばかりですが……

さて、5月13日の縄張り式から始まった「すずかけ作業所」の移転建設工事は今のところ順調に進んでいます。来年の3月末までに無

事竣工することを願うばかりです。

現在もコロナ旋風による自粛体制のなかで、三密を避けながら利用者、職員が一丸となって日々の活動に取り組んでいます。

対外的なイベントが中止されるなか自主製品の販売活動等も影響を受け、長引くコロナの影響で忍！忍！！の日々です。それでも利用者みんなは職員と普段通りのいい顔で作業・日中活動や生活を楽しんでいるように見えます。どんな状況でも人と人との関係づくりが大切だという事が実感されます。

だんだんと普及してきているオンラインでの会議や研修を一羊会でも導入しています。

私のようなアナログ系にはなかなかなじまない光景ですが、やってみると意外に面白いものだと思います。

去る10月31日にオンラインによる全体研修なるものを開催しました。はるか新潟から画面を通して講師の話を聞かせてもらい、質疑応答もなかなか楽しいやりとり、表情などがよく伝わり、私が思っていた以上に盛り上がった研修になったと感じています。

日々顔が見えにくい日常では画面を通してでも顔の見えるやりとりができる事は素晴らしいと思いました。対面での関係づくりとオンラインを使っての関係づくりの併用が今後の定番になっていくように思います。

自粛ムードが続きますが、皆さまも感染に気をつけて、心抑えて、呑気、根気、元気の精神で良い年をお迎えください。

2020年度

## 法人内研修

新型コロナウイルスは一羊会の職員の研修体制にも大きく影響を及ぼしています。人が集まることに制限がかかる中、法人内で行われた研修会について紹介したいと思います。

新型コロナの感染者数がやや落ち着きを見せていた8月に、新卒の新任職員を対象とした新任研修会が行われました。

政府より緊急事態宣言が発令されたのが、2020年4月7日。新社会人生活が始まったばかりの新任職員の皆さんにとって、新しい環境に慣れながら、コロナ禍の新たな生活様式にも慣れないといけないという状況は本当に大変だったと思います。この日、約半年ぶりにお互いに顔を合わせた皆さん。それぞれの近況や受け持っている仕事の内容を話したりしながら、久しぶりの再会を喜び合いました。



10月31日にはオンラインでの法人全体研修が行われました。

例年であれば年度始めに、職員が一堂に集まって開催していますが、今年は半年遅れての開催となりました。

ヘッドセットを装着した理事長からのお話は、Webを通して職員に届けられました。

研修のテーマは【『知る』から『知ろう』へ（受動的に教わるから能動的な姿勢へ）】。

午前中の講義では、ご自身が学習障害で、「当事者」として全国各地で公演を行っている南雲明彦氏を新潟県からZOOMで講師にお招きしました。

南雲氏が支援を受けてきて感じてきたことや、人と人とのコミュニケーションの本来的なあり方について語られた言葉の数々は、オンラインの画面上からではありましたが、とても身近に感じられ、職員それぞれの胸に深く響くものでした。

午後からは、それぞれの事業所で、職員同士が顔を合わせてグループ討議を行いました。

午前中の講義を受けて感じたことや、仕事に対する思い、それぞれが利用者支援の中で成功したことや失敗したこと、疑問に感じていることなどを語り合いました。

このような研修は、職員それぞれが日々の支援を振り返り、ともに働く同僚たちの普段は語られない思いに耳を傾け、改めて自分の仕事を見つめ直すことが出来る大切な機会です。

毎年の恒例行事でもある法人全体研修を無事に開催出来たことで、コロナ禍にあっても一羊会全体で前に進めたような気がします。

# 事業所紹介

## 武庫川すずかけ作業所

武庫川すずかけ作業所は61名の利用者が通所しています。阪神高速武庫川ランプの輪の中心にある作業所です。活動内容では除草、清掃、資源回収、菓子の出荷準備や配達、手漉き紙の製造、下請け内職等の作業や創作活動、園芸、機能訓練、音楽、ダンス、アロマ等幅広く行っています。個別支援、思いやり、チームワークをモットーに充実した日々を過ごせるように頑張っています。

### お菓子工房SUZUKAKE

武庫川すずかけ作業所の菓子班では、これまで製造も行っていましたが、本年度より上甲子園すずかけ作業所で製造・梱包されたクッキー・ケーキに表示シール等を貼る出荷準備、お客様へ商品を届ける配達業務を主にしています。日々、お客様のもとへおいしい商品をお届けること、商品を購入して下さったお客様に「ありがとう」と言ってもらえることを励みに毎日頑張っています。また、これまで行っていなかった内職作業に新たに取り組んでいます。菓子作業で培った様々なスキルを活かし、日々やりがいを感じながら過ごしています。今後も新たな可能性を引き出し、やりがいや楽しみを感じられるような班でありたいと思います。

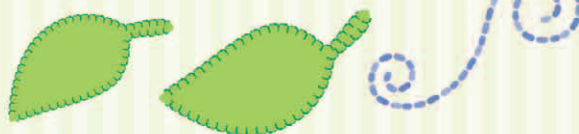
〔班代表 岩見 夕貴子〕

### ランプ班「ゆかいな日々」

ランプ班は機能訓練と余暇活動をメインに活動しています。長年仕事をされてきた方々が、現在は健康・体力維持を目的として毎日機能訓練を行っています。

余暇活動では貼り絵や製作、調理レク、ボッチャ、散歩、リトミック、講師の先生を招いての茶道・華道等行っています。また、地域交流として高校や大学との交流会も行っています。現在新型コロナウイルスの影響で活動に制限がありますが、今後もランプ班はアットホームな雰囲気「笑顔」をモットーに日々過ごしたいと思っています。

〔班代表 柿坂 浩史〕



## プロチーム2年目

就労班は2019年度より結成された新しい班。公園除草やマンション清掃等の屋外作業を中心に、自主製品の染物や下請け内職にも取り組んでいます。公園除草作業は1階と3階の軽作業班が分担して行っていましたが、昨年度より就労班の作業となりました。ある利用者さんは就労班に所属が決まると就労班のことを【プロチーム】と呼び、以前より屋外作業に前向きに取り組んでいます。自分の班と仕事に誇りを持つ姿が私の琴線に触れ、暑さに負けず、寒さに負けず、仕事熱心な班のメンバーに尊敬の念を抱いています。

〔班代表 園村 絢香〕



2019年撮影



## 感染防止の取り組み

作業所ではコロナだけでなく様々な感染症の予防対策を実施しています。

職員は出勤したらまず検温。送迎時には乗車前に利用者さんの検温と健康確認を行っています。朝と昼には手すりやドアノブ、電話やスイッチなど手が触れる箇所を消毒しています。やってみると意外と範囲が多く、「消毒で時間が過ぎてく〜」といった声も聞こえます。また、職員は消毒用ボトルを携帯し、手指や車輦内の消毒に活用しています。

食堂は対面を避けるテーブル配置と、班ごとに時間を分けて密にならないよう配慮しています。食事や歯磨きの介助をする際は、フェイスシールドを着用しています。

他にも定期的な換気や加湿器の設置、飛沫を遮る間仕切りを作るなど、利用者さんが安心して通えるよう感染予防を徹底しています！



また向かい合って食事ができますように

# あとリエ すずかけ 新聞

第20便 2020.12  
撮影／編集：神田 浩平



2020年9月19日～11月8日の間、兵庫県篠山市にある天然酵母のパン屋「白殻五粉」さんにて、すずかけ絵画クラブ・あとリエすずかけメンバーの尼崎昌弘さんが個展を行いました。篠山市で行われた【丹波篠山・まちなみアートフェスティバル】に関連した展示ということもあり、たくさんの方が足を運んでくださいました。

尼崎さんはすずかけ絵画クラブが発足した当初からのメンバーで、かれこれ30年近くの間、絵を描いてきました。会場では、尼崎さんが描いてきた数多くの作品の中から、関西にゆかりのある風景画を4点、そして尼崎さん

がよく描かれる「花」の絵なども複数点、展示しました。

開場してから、尼崎さんご自身の個展のことをずっと気にかけておられました。コロナの影響もあり、中々足を運ぶことが出来ませんでした。10月29日、尼崎さんが所属する『すずかけ作業所・屋外1班』の仕事仲間の皆さんと一緒に来場されました。

ご自身の絵だけで埋め尽くされた会場に佇み、嬉しそうにそれぞれの絵を眺める尼崎さん。

お客さん達が残してくれたメッセー



ジカードを1枚1枚、丁寧に読みながら、『こんなに嬉しいことはないよ』とつぶやいていました。

色んな人が自分の絵を楽しんで観てくれたことを肌で感じる事ができ、それが何よりも嬉しかったそうです。

## CDジャケットのデザイン

関西を中心に活動している『Happy House』というジャズバンドが、CDジャケットに使う絵をあとリエすずかけメンバーの伊東鉄也さんに、そして題字を仁田葉月さんにそれぞれ依頼してくれました。

ロックやポップス、レゲエなど、メンバーの皆さんが影響を受けてきた様々なジャンルの音楽を取り入れながら、ジャズバンドのサウンドとして昇華させた全8曲のファーストアルバムです。

コロナの影響を受けて、バンドの活動やCDの制作には様々な困難があったとお聞きしました。そんな中で出来上がったアルバム。伊東さんの絵、そして仁田さんの字も加えて頂いて、とても味わい深い仕上がりとなっています。



## 〜 浜田さんを偲んで 〜

すずかけ第2作業所と大塚ホーム所属の浜田義夫さんが、昨年末から闘病されておりましたが、2020年8月6日にお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。

あなたとの出会いは、青年生活学級でしたね。バリッとした背広でみんなのリーダーをしてきていました。やさしくてかっこよくて、いつもブレない言動、泣き言を言わない強い浜ちゃん、私にとって、あなたは尊敬する頼もしいお兄さんでした。

「一羊園を出て、働いて、地域で暮らしたい」あなたのことがあり、それを熱く言い続けてくれたから、地域移行の取り組みが始まりました。

一緒に働き生活し遊ぶ中、あなたの生き方から、働くことの大切さ、生きる喜び、福祉のあり方、支援者がすべきこと…たくさん教えて頂きました。そのことを忘れず実践していかなければいけないと思っています。あなたが私たちに託した課題は大きいよ。

戦争でご家族と離れ、施設での作業実習を通じて出会われた作田さんご家族との生活の後、一羊会にこられました。お別れ会での作田さんの弔辞はとても心温まるお話でした。あなたがたくさん愛されて生きてこられたことをつくづく感じました。

先に逝かれた仲間と一緒に私たちを見守って下さいね。「また旅行や映画、ご飯に行こうね」かわした約束はまたそちらに行った時に！待っててね！

10月8日 一羊園で、40年以上お付き合いがある仲間たちで、若く元気だったころの浜田さんを思い出し、偲ぶ会をしました。

10月21日、浜田さんの名前の由来の地である神戸市灘区浜田町の安楽寺に納骨されました。戦争で離れ離れになったご家族と再会されていることと思います。

「戦後から今日まで働きぬいた浜ちゃんに拍手！」浜田さんが大好きだった高木元本部長のことが印象的でした。

一羊園 主任 片山 みどり



“本当に根っからの仕事人”、これが私の浜田義夫さんの印象です。

私と浜田さんとの出会いは私がすずかけ労働センターに入職した9年前になります。「常に」そして「意欲的に」働く方で、今振り返ってみても手を抜いて仕事をしている姿なんて一度も見た事がありません。

すずかけ労働センター時代は、除草作業を中心に働いており、その時は常にダンプの荷台に乗り、草をバンバン積み込んでいく姿が印象に残っています。

7年前からはすずかけ第2作業所で内職作業が中心になりました。それでも働く意欲を持続し、休憩時間も労を惜しまず仕事を続けておられました。仕事が進み過ぎて、私の検品が追い付かず「もう勘弁してくださいよ」と話すと、とても嬉しそうな表情をし、更に仕事の手を速めていました(笑)。ここ数年は、病状が進行し体力の低下が顕著に見られ、作業も上手く進められない状況にありましたが、それでも最後の最後まで働き抜いた浜田さんの功績に改めて敬意を表したいと思います。浜田さんに出会えた事、一緒に働く事ができた事に感謝します。

浜田さん本当にお疲れさまでした。少しはゆっくり休んでくださいね。

すずかけ第2作業所 主任 大川 裕紀



すずかけ労働センターの仲間たちと  
(下から2列目、左から3人目、黄色いTシャツの浜田さん)



## ご挨拶

会長 太田 博

いつも一羊会後援会の活動にご支援いただき誠にありがとうございます。

平成から令和に年号が変わり、気持ちも新たにスタートした矢先に新型コロナウイルス感染が世界的な規模に広がり、今尚感染拡大が続き、5000万人以上が感染、120万人以上が亡くなられ、更に感染が拡大しているといったニュースが流れています。

寒い時期は特に感染力が強くなり、またインフルエンザの流行期でもあり、特に高齢、基礎疾患をお持ちの方については危機感倍増です。

皆様におかれては、くれぐれも罹患されないよう元気に新しい年をお迎えくださるようお祈りいたします。

大変遅くなりましたが、2020年度一羊会後援会総会のご報告をさせていただきます。

今総会はコロナ禍という事で文書の送付による決議の形式で実施させていただきました。

書面決議書締切日の7月17日を総会開催日といたします。

発送数291通、返信数222通のうち全議案賛成が211通あり過半数を満たしていましたので総会の議案すべてが可決しましたことをご報告致します。

他内訳として6号議案のみ反対3通、保留6通、全議案反対1通、全議案保留1通といった内訳になりました。

不明金問題はすっかりしない面も多々あるとは思いますが、これまでの経過と現状を勘案した結果の方針でした。今後は経過を観ながら最終の詰めをしてまいります。

提案通り多くの同意をいただきありがとうございました。

不安定だった事務局体制も徐々に定着しつつあります。リーフレットは概ね出来上がり、募金箱設置の取り組みはコロナの状況を踏まえながら徐々に取り組んでまいります。

### 〈2019年度事業報告概要〉

管理体制については複数体制で業務を行いました。が年度途中で実務担当が退職し、以降滞り気味になりました。販売事業はカレンダー販売のみを実施しました。

十日えびす街頭募金に代わる募金箱の設置についてはサンプルの取り寄せ以降前向きには取り組めませんでした。

西宮青年会議所のご協力で新たに9名の会員増につながりました。感謝です。

### 〈2020年度役員体制について〉

2019年度は、中谷監事(育成会副会長)のご逝去により監事1名体制で年度を終えました。

改めて中谷監事のご冥福をお祈りいたします。2020年度は(一社)西宮市手をつなぐ育成会の役員改選により以下の役員体制で取り組みます。

近藤副会長、長い間ありがとうございました。

### 2020年度 後援会役員一覧

(任期：2020年7月17日～2021年 総会開催時迄)

役職名	氏名	現在の役職等
会長	太田 博	(株)GEOソリューションズ 代表取締役会長
(新)副会長	本田 洋子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 会長
副会長	三浦 昇	(福)一羊会 理事長
(新)理事	泉 明子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長
理事	北本 宝	(一社)西宮青年会議所 監事
監事	長谷 隆行	長谷隆行公認会計士・税理士事務所 代表
(新)監事	梅谷 正子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長

### 〈2020年度事業計画概要〉

事務局体制の安定化に向けて取り組むと共に、会員の維持拡大を計画の柱とし、新しいリーフレット作成、募金箱作成を継続、カレンダー販売に取り組みます。

引き続きご協力の程よろしくお願い致します。



## 2019年度収支決算

## 貸借対照表

2020年3月31日現在

単位：円

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
普通預金 三井住友銀行	107,433	未払金 一羊会へ寄付	1,500,000
普通預金 ゆうちょ銀行	285,809		
ゆうちょ銀行 振替口座	1,532,084		
現金	49,102	当期繰越金	474,428
資産合計	1,974,428	負債・純財産合計	1,974,428

## 収支計算書

自2019年4月1日 至2020年3月31日

収入の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
会費寄付金収入	2,200,000	1,485,375	△714,625	
会費	1,200,000	764,000	△436,000	
寄付金	1,000,000	721,375	△278,625	
事業収入	750,000	363,110	△386,890	
募金事業	350,000	0	△350,000	募金箱
販売事業	400,000	363,110	△36,890	カレンダー販売
雑収入	100	523	423	受取利息他
前年度繰越金	467,422	467,422	0	
収入合計	3,417,522	2,316,430	△1,101,092	

支出の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
事務費	135,000	103,925	△31,075	
通信費	40,000	26,120	△13,880	郵送料、切手代
振替手数料	25,000	27,785	2,785	会費等振替手数料
印刷費	50,000	39,260	△10,740	振替用紙、受領証印刷費
会議費	10,000	4,200	△5,800	会議室使用料
消耗品費	5,000	3,278	△1,722	お茶等
雑費	5,000	3,282	△1,718	振込手数料・残高証明他
事業活動経費	250,000	238,077	△11,923	カレンダー仕入代金等
寄付金支出	2,500,000	1,500,000	△1,000,000	一羊会へ寄付
委託料	0	0	0	
小計	2,885,000	1,842,002	△1,042,998	
当期収支差額	532,522	474,428	△58,094	
支出合計	3,417,522	2,316,430	△1,101,092	

## 2020年度 予算

自2020年4月1日 至2021年3月31日

収入の部 単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
会費寄付金収入	1,485,375	2,000,000	514,625	
会費	764,000	1,000,000	236,000	
寄付金	721,375	1,000,000	278,625	
事業収入	363,110	500,000	136,890	
募金事業	0	100,000	100,000	募金箱収入
販売事業	363,110	400,000	36,890	カレンダー販売収入
雑収入	523	100	△423	預金利息等
前年度繰越金	467,422	474,428	7,006	
収入合計	2,316,430	2,974,528	658,098	

支出の部 単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
事務費	103,925	210,000	106,075	
通信費	26,120	60,000	33,880	郵送料、切手代
振替手数料	17,554	30,000	2,215	会費等振替手数料
印刷費	47,358	100,000	60,740	リーフレット・振替用紙印刷費
会議費	4,200	10,000	5,800	会議室使用料
消耗品費	3,278	5,000	1,722	お茶等
雑費	3,282	5,000	1,718	振込手数料、残高証明等
事業活動経費	238,077	250,000	11,923	カレンダー仕入、募金活動諸経費
寄付金支出	1,500,000	2,000,000	500,000	一羊会へ寄付
小計	1,842,002	2,460,000	617,998	
当期収支差額	474,428	514,528	40,100	
支出合計	2,316,430	2,974,528	658,098	

## \*予算設定について

ここ数年、決算額は減収傾向が続いていますが、会費・寄付金収入は200万円を基本に最低目標値で設定しています。事業収入については前年実績に基づいて設定しています。

年度ごとで増減差の大きい年もありますが会費・寄付金収入については予算以上の年もあり(2014. 2015. 2017)、今年度の会費・寄付金収入予算は前年度より20万円下げて200万円の最低目標値に設定しています。

支出については前年実績に基づいて設定していますが、募金箱設置費(事業活動経費)については更に支出が増える見込みです。

法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同)

2020年6月1日~2020年10月31日

<b>*法人</b>	岡本征 石川富美子 三浦昇 仙波静子	4件
<b>*一羊園</b>	一羊園家族会2件 田中夫佐子 世良輝子 森野和雄2件 森野三郎 森野直子	9件
	一般財団法人高友福祉積善会	
<b>*すずかけ作業所</b>	西面隆司 匿名2名 すずかけ作業所保護者会 一般財団法人高友福祉積善会	5件
<b>*武庫川すずかけ作業所</b>	平野弘子5件 匿名	6件
<b>*上甲子園すずかけ作業所</b>	上甲子園すずかけ作業所保護者会	1件

◆御礼 仙波静子様◆

元すずかけ第2作業所の利用者：故仙波友様の母親である仙波静子様が令和2年2月に永眠されました。故人の遺志により、公正証書遺言に基づき、弁護士を通して遺産の一部を一羊会に御遺贈頂きました。

無認可のすずかけ共同作業所が開設して間もない頃から、長く一羊会事業の発展にご協力いただくとともに、平成24年に御子息が急逝された後も一羊会のことを気にかけて下さり、多額の御遺贈を賜りましたことに深く感謝申し上げます。御遺志に応えられるように、すずかけ作業所の移転建替資金に有効に使用させていただきます。

改めて感謝申し上げますとともに、仙波静子様のご冥福をお祈りいたします。

いつもご協力・ご支援ありがとうございます!!

2020年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2020年7月1日~10月31日までのご納入分を記載)

<b>*法人・団体の部</b>	(宗)圓滿寺 大関(株) 大関エステート(株) (株)岡崎石材店 (株)前中地所 (株)ケージクレセント(2口) (株)創功エンジニアリング (株)メックテクニカ 社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所 (一社)西宮市薬剤師会 (株)ヤマサ環境エンジニアリング すずかけ第2作業所保護者会(47名) すずかけ作業所保護者会(44名) すずかけ労働センター保護者会(22名)	14件
<b>*個人の部</b>	天野朗代 伊藤節子 井上尚子 今西永兒 大谷信之 大前繁雄 大前はるよ 大村貞明 大目修平 大山浩 岡克明 緒方満智 岡伸光 岡村英幸 小川加代子 小川猛 奥嶋育子 片山みどり 鎌谷泰子 川上隆弘 川越アキミ 北川泰寿 久保田晴子 栗原裕実 車田光子 佐々木康晴 四方勝 島本美香 千翔有峰 善塔勝一郎 高木博敏 高谷知子 高野重子 高林恵子 田中京子 谷矢吉夫 椿本和生 中島忠男 中村絢子 浜田良子 長谷隆行 濱伸子 早川典江 日高昭夫 福田百合子 藤田信子 藤田隆治 堀江史子 松枝千尋 光武真里 宮脇葉子 森野和雄 矢萩祐子 山本加津美 横山潤・正代 吉田幾久世 吉野千栄子 北村伸一(2口) 簾編宗秋(2口) 田中美英子(2口) 寺尾郁子(2口) 藤井圭子(2口) 前川拓郎(5口) 山岡敬子(2口)	64件

2020年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2020年7月1日~10月31日のご入金分を掲載)

<b>*法人・団体の部</b>	サンコウ消毒 社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所	2件
<b>*個人の部</b>	青木純子 大谷信之 大村貞明 大目修平 小川加代子 金井治夫 鎌谷泰子 川上隆弘 北村伸一 久保田晴子 笹川利彦 佐々木康晴 下浦洋子 善塔勝一郎 高木博敏 高谷知子 谷矢吉夫 長谷川幸 長谷隆行 早川典江 前川拓郎 万竝建二 森野和雄 矢萩祐子 山岡敬子 山口苑 山本加津美 吉田幾久世	28件

口座名義 一羊会後援会 【銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061 【郵便振替口座】01190-8-66322

※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。別途受領証が必要な場合はお知らせください。

## 広報部こぼれ話

### 武庫川すずかけ作業所・ランプ班の貼り絵制作

武庫川すずかけ作業所の玄関には毎月、季節の貼り絵が飾られています。

制作しているのは1階・ランプ班の皆さんです。

取材したのは2020年9月30日でした。

この日の取材に合わせて、貼り絵の進み具合を調整してくれていた皆さん。

制作する風景を見せてくださったのですが…、途中から「このままじゃ、今日中に終わらない！」という感じになって、そこからは職員も加わって総出での制作となりました。

みんなでワイワイと盛り上がり仕上げた貼り絵を飾って、最後は記念撮影。

職員も利用者の皆さんも、みんな明るくて優しくて元氣、その名の通りに温かなランプ班の皆さんです。



## ありがとうございました 寄贈のお礼

### ● 一般財団法人 高友福祉積善会様 ●

一羊園に福祉事業助成金を頂き、冷蔵庫とデジタルカメラを購入させて頂きました。

冷蔵庫はグループホームで、日々の生活支援に使わせて頂いております。デジタルカメラは利用者の方とのレクリエーション風景や、支援に用いるカード等の作成に、活用させて頂きます。ありがとうございました。



すずかけ作業所に福祉事業助成金を頂き、パソコン・プリンター・ipad・プロジェクターを購入致しました。ipadを活用して、利用者の皆さんとのコミュニケーション支援に役立てたいと思います。ありがとうございました。



### ● すずかけ第2作業所 保護者会様より寄贈 ●

今回、保護者会から部屋の大きさにあわせた空気清浄機を各グループの部屋にとということで、全部で8台頂きました。

これから寒さが厳しくなるので加湿対策をしっかり行い、インフルエンザとコロナへの備えをしっかり進めていきたいです。ありがとうございました。



Boleh( ボレ ) はマレーシア語で「できる」を意味します。

このページでは地域共生をテーマとし、一羊会と地域の皆様方とのつながりをお伝えしていきます。

## 『すずかけ労働センターの自転車リサイクル事業』

すずかけ労働センターには“リサイクル棟”と呼ばれる建物があります。その建物で、1987年の開設当初から続いている自転車のリサイクル事業について今回はご紹介いたします。

すずかけ労働センターでは、撤去された街中の放置自転車の中から、期限を過ぎても引き取り手がなかった自転車を市から買い取り、再び使用できる状態に整備して販売しています。自転車の整備作業に関しては職員主導で行っていますが、そこに携わる様々な作業に利用者の皆さんが携わっています。

買い取った自転車の中には、リサイクルできない程に傷んだ自転車も少なくありません。そういった自転車を解体し、処分するためにそれぞれのパーツに分けていく作業を受け持っているのは利用者の皆さんです。

また、リサイクルできる状態となった自転車の汚れを落とし、各パーツを磨き上げていく作業も利用者の皆さんに任せられています。リサイクル棟で作業を行っている時には、1階と2階のスペースに利用者の皆さんが分かれて、黙々と自転車を磨き上げている姿が見られます。

例年であれば、秋には多くのイベントが開催され、そこでリサイクル自転車の販売をしているのですが、コロナの影響でイベントの中止が相次ぎ、今年は販売の機会が減っています。

コロナ禍にあって難しい状況はまだまだ続いているようですが、すずかけ労働センターが地域の中で長年行ってきたこの自転車のリサイクル事業は、今日も職員と利用者の皆さんの手で、繋がっています。



## 『頓宮さん、ふるさとを唄う』

きょうされん兵庫支部のなかまによる『テレワーク大合唱』に参加するため、すずかけ第2作業所の頓宮さんが先日レコーディングを行いました。この企画は、北欧の楽器・コカリナ演奏の第一人者である黒坂黒太郎さんの伴奏にあわせて、きょうされんの会員や仲間の皆さんが『ふるさと』を歌った映像をまとめて一つの動画に編集するというものです。レコーディング当日、広報部スタッフを待っていていた頓宮さんは、やや緊張した面持ちながらもすでに発声練習を終えて準備万端。本番では、愛用のギターを爪弾きながら、アレンジを随所に加えた『ふるさと』を朗々と歌い上げてくださいました。映像の完成は2021年の3月とのこと。またホームページなどでお知らせいたします。

